



理容 やまがた

—発行所—

山形県理容環境
衛生同業組合

〒990 山形市清住町3-2-65
電話 0236-45-3525

発行者 富樫富太郎
編集者 長沼日出夫

購読料1部10円毎月1回発行

組合員の購読料は賦課金の中
に含まれて居ります。



総勢88名若人の競演!! 第二十一回 山形県理容競技大会

昭和57年6月21日上の山形市村尾旅館大ホールにて、第21回技術選手権大会が開かれた。

本年は、88名と近年にない多数の選手を迎え、又早朝より地元上の山形市初め五〇〇名の応援者が会場を埋めつくす中、9時30分若さ溢れる選手入場、坪倉進大会実行委員長の開会宣言、富樫理事長、白岩商工会会長挨拶、又県知事初め来賓祝辞等が続き、10時30分選手代表上の山支部鈴木幸雄選手の力強い選手宣誓、盛んな拍手(どよめき)の中、第一回戦第三部マインドバリエーションで火蓋が切られた。

今号からの「理容やまがた」題字は
富樫理事長のデザインです

第1部 富樫 (藤島) 第2部 伊藤 (上山) 第3部 植松 (北村山) が優勝全国大会へ!!

第4部 メンスヘア 柿崎(山形)
レディースヘア 山田(酒田)
第5部 鈴木(寒河江)

理容の花、県競技選手権大会も年々盛大になり、各選手日頃の錬磨した技術を力いっぱい発揮し、熱戦の末各部次の選手が入賞した。

1・2・3部各優勝、準優勝者は8月23日福島県で行なわれる東北大会へ出場
又優勝者三名は10月19日横浜市で開く全国大会へと山形県の為、各選手の健闘を願う!

第一部 クラシカルハックススタイル
アイロン仕上

- 一位 富樫 憲雄 藤島
- 二位 後藤 実 寒河江
- 三位 渡辺美津男 山形

第二部 エレガント・レディスカット

- 一位 伊藤 和幸 上山
- 二位 滝花 茂 北村山
- 三位 斉藤 淳一 鶴岡

第三部 マインド・バリエーション

- 一位 植松 行雄 北村山
- 二位 上林 浩 鶴岡
- 三位 五十嵐 亮 藤島

第四部 メンスフェア

- 一位 柿崎 育子 山形
- 二位 菅野 千春 酒田
- 三位 河内由伊子 山形

レディースヘア

- 一位 山田沙奈江 酒田
- 二位 佐藤 和子 寒河江
- 三位 柏倉 昭子 寒河江

第五部 ワインディング

- 一位 鈴木多岐子 寒河江
- 二位 向よし子 上山
- 三位 斉藤 徳子 鮎海
- 四位 斉藤 俊子 東村山
- 五位 寒河江修子 山形



最後迄、根性で頑張りました。(柿崎さん)



うれしいです。(山田さん)



夢みたくてです。(鈴木さん) 来年は別の部門で頑張ります。

全力を出し切り疲れしました。全国大会に望み、今迄以上に頑張ります。(富樫君)

*各優勝者の喜びの声

やっと終り、ホッとしました。全国大会へもう一步山を登ります。(伊藤君)

昨年の雪辱を、上位入賞に挑戦します。(植松君)

芸術の息吹き！ 文化展開催！！

私の所感

去る六月二十一日に、競技会と一緒に催された文化展についての、感想文を書いてみないかと云う事で、見て感じたままを簡単に記してみました。先ず、文化展そのものは会場に子供さんの作品も混つて、絵画、書道、写真、手工芸等、バラエティーに富んだ(と云っても絵画と写真が多かったのですが)それぞれの力作が展示されており、製作者が同業者でしかも知人が多くと云う事もあってか、作品が身近かなもの感じられて大変楽しく拝見致しました。しかし、当初もつと多くの作品を期待しておりましたので欲を云えどもつと多くの人のいろいろな作品を見たかったなど、それが文化展を銘打つたにしてはいささか物足りないう気がしないでもなかったです。尤、あの会場ではあれで適量かも知れませんが、只、せっつかくの文化展も競技会と併催と云う事の為、文

化展だけをじっくり鑑賞すると云う雰囲気ではありませんでしたし、当然鑑賞している人も非常に少なかつた様に見えるけられました。又、時間と場所の余裕がなく、作品の陳列には、大分苦勞されたのでしようが、柱等が邪魔になり中には文化展に気づかず帰った人もいた様でした。ね。そこでどうせなら、文化展は独自で催したらどうだろうか、そしてもつと多くの作品を展示し、私共の業界だけでなく、広く一般の人々にも鑑賞して貰う、そうすれば、理容師に対する認識も又変わってくるのではないだろうか、などと考えてみたりもしたのですが如何でしょう。

ま、それはさておき、仕事の合間に或いは休日を利用して一生懸命仕上げられた出品作品は、熱意が窺って本当に素晴らしいものでした。

山形支部 武田政年

大会スナツプから



もしかしたら、私優勝かしら。
YBCインタビュに

「競技開始一分前」
競技部長の声に場内一瞬、シーン。緊張がみなぎる。

「初め」
場内にひびき渡るかけ声。

「お願いしまーす」
「お願ひしまーす」
「何番張れ」の声に頬を紅潮させる女子選手。何と素晴らしい、新鮮な場だろう。

観客の中に入りインタビュを開始。

初めてですか、ご感想をどうぞ。

「ハイ、今年インターン生になつたばかりです。高校の時陸上をやりましたが、一つの目的に向う真険な気持はどんな競技会も同じだなあと思いました。素晴らしいです。」

お名前は

「鈴木晴美です。」



男性諸君の緊張度、それに引きかえ、女子選手はリラックス。

(25分。
ウムツ、良くヤルナー。)



どちらから。

「山形です。毎年見に来てます。今年は、うちの従業員も出場しますので応援に来ました。」

今年の大会はどうですか。

「年々盛大になり結構だと思えます。しかし、1・2・3部の出場選手が毎年同じ選手に絞られた感じで若い人の出場が少ないのは淋しいです。これからは、若い人を育てることを考慮した大会で有ってほしいです。」

ありがとうございます。

※尚、審査結果、審査講評は次号で発表致します。

文化展出品

ありがとうございます

文化展も年々盛大になり、今回の出品数は四十二点の多数を見ました。皆様方の御協力に感謝申し上げます。

今後、年を追う事に展示数も増え又質的にも向上して来たことから、何にもかも展示すると言うやり方より充分な余白を取りゆっくり鑑賞出来るようにとの要望もあり、先の広報部長会議でも会場等が問題になり討議されました。来年は其等を踏えすばらしい文化展を期待したいと思います。出品者の皆さん有難う。

藤島	富樫富太郎	絵画	天童	小川美智子	ビーズ	
"	高橋	民子	北村山	菅野美恵子	掛軸	
"	小松	勇治	"	新野	フミ	色紙
酒田	仲条	章市	"	須藤	道義	油絵
"	庄司	俊也	"	新見	武司	水彩画
"	池田藤五郎	色紙外	"	太田重治郎	写真	
"	馬場	俊一	"	奥山	敏子	編物
米沢	高橋	勉	"	五十嵐貞子	編物	
"	高梨	芳子	"	押切トヨ子	編物	
"	桑野	弘	山形	有海	勉	写真
上ノ山	松浦	恵三	"	稲谷	政孝	写真
"	三浦	静子	"	大沼	秀市	写真
"	坪倉	進	"	横山	高好	写真
"	富士住之丞	写真	"	佐藤三千男	写真	
"	岡崎	正之	"	浦山富士子	紙彩画	
"	鏡	千代子	"	梅津	薫	スタイル画
東村山	佐藤	信男	"	佐藤	一江	スタイル画
"	佐竹	木市	"	富樫真喜子	スタイル画	
寒河江	木村	栄蔵	"	安達	勇雄	書掛軸
"	天童	海和	"	清水	節子	書
"	伊藤	政一	"	鈴木	陽子	油絵
"	伊藤	政一	"	鈴木	陽子	油絵

県講師会総会

新会長に 本間順一氏!!

去る6月7日、第21回県講師会総会が県南の地米沢市置賜総合文化センターに32名の(委任状30名)会員を集め開催された。

56年度事業及び会計報告の承認後役員改選に入り新会長に県教育部長の本間順一氏が選ばれた。新会長は、我々講師会会員は指導する立場に有り、常日頃組合員から尊敬される会員で有る様心掛る事を強調した。

其後、57年度事業計画及予算等が承認された。又前会長佐藤正志、長沼日出夫両氏に感謝状を贈り四時閉会、後場所を小野川温泉河鹿荘にうつ会員相互の親睦を深め一年の労を分かち合うと共に今後の講師会活動について等夜遅く迄話し合いが持たれた。

◆新役員は次のとおり
会長 本間 順一 鶴岡
副会長 秋葉 勝 南陽
総務部長 佐藤 正志 鶴岡
経理部長 仲条志次郎 酒田

置賜ブロック長 栗野 幾夫 南陽
村山ブロック長 小山 忠良 山形
庄内ブロック長 今林 政見 酒田

五十七年度 第二回審査員会

大会前日の六月二十日、村尾旅館にて本年第二回目の審査員会が開かれた。富樫理事長、坪倉教育担当副理事長始め技術審査員、モデル審査員監視員と各部門の方々と本間技術審査委員長のもと詳細に巨り会議が進められた当日の議題は、

◆技術審査について
審査基準をよく理解する事特に第一、二、三部について全国大会要項を把握し厳正なる審査を話し合いベテラン審査員に混って新委員からも活発な質疑応答が有り、三部マインドバリエーションでは映画を上映し再度検討の熱の入れようであった。

◆モデル審査について
一部クラシカルバックスタイルでは、調髪三週間経過し

ているか、事前処理がされてないか(アイパー、染毛)?
二部では事前にパーマなど掛けていないか?
三部は前額剃込はやっていないか?
四部について、毛の長さが十センチ以上あるか?パーマは?
五部ワインディング、男性ウイックに限る。
等が検討。

◆監視について
一、刈布、タオル等は競技開始後につける。
二、競技完了、表示は後方にさがり手を上げる。
三、ロットは六十本以上使用されているか?
等々、長時間に亘り慎重なる審議が行われ明日の大会成功を祈り散会した。



全連補助講習

余目・米沢地区で開かる

昭和57年度全連補助講習が全連講師吉岡久雄先生を招いて、6月14日余目中央公民館大ホールに於いて開催されました。当日は朝から小雨の降りしきる中、庄内一円一三〇余名の多教の方が開始前から会場につめかけ、受講生の熱心さを感じられました。庄内ブロック事務局担当長南誠氏開会の挨拶の後、県教育部長本間順一氏が、これからの雇客のニーズに対応するため、ニューヘアークロスピアを大いに勉強して下さいとお話があり、次に県理事長富樫富太郎氏が組合の補助講習を通じて技術のレベルアップに役立ててほしいとの力強い挨拶がありました。

その後、吉岡講師より「2全連連ニューヘアークロスピア」の創作の意図、技術プロセスを図解を通して、受講生がわかりやすく説明がありました。実際にモデルを使っ

てブレカットの仕方、長さを納得行くまで教えて頂き、とくにワインディングは自由な流れと毛先の変化を求め、クロスワインディングを行ってほしい。これは大小のロッドをミックスさせたりロッドをレンガ状にクロス配列させることによってフロントの自由な流れを変化させるのが特徴。

この様に、組合講習によって中央の技術がいち早く地方で受講出来る事は、サロンの繁栄にたく事の出来ない事だと思えます。

最後に、飽海支部理事鈴木正雄氏より閉会の挨拶があり無事散会いたしました。吉岡先生並びに各支部役員の方御協力頂きまして有難度うございました。

鶴岡支部教育部 佐藤喜一



尚、全連補助講習として庄内と共に六月七日米沢置賜総合文化センターに於いて、コンピュータバーの板羽忠徳講師によりクロスピアの講習があり、一五〇余名受講者を見た。

57年度 広報部長会開かる!!

6月14日午前10時より県理容会館に於いて、各支部広報部長が参集し第一回広報部長会議が開かれた。田村与吉副部長の開会の言葉に初まり新広報部長長沼日出夫氏の新任の挨拶、広報担当副理事長志田健治氏の挨拶の後、書記に井上藤太、石垣肇両氏を選出し年度初めとあつて各支部新広報部長も多く自己紹介の後議題に入り次の事項について討議された。

◎「理容やまがた」はあくまでも県組合と各支部組合員を継ぐ事が、第一の使命と考えられる事から今迄第一面に掲載されていた「伝統由来」は取りやめとし各支部便りのコーナーを設ける事とし、又一般組合員の皆様よりの投稿は県広報部長宛直接送付を頂く様をお願いする事。

◎文化展開催については、皆さんから喜ばれる様な会場の確保に務める事とし、作品の会場への搬入は出品者もしくはお預りした各支部役員が責任を持つ事。又手芸出品等については今後の文化展迄に再検討をし今回は取り扱う事とする。

◎全国競技大会ツアー計画として、全国競技大会へ山形県から個人で見学されて居る人が多いとの事から、ツアー計画を組み「理容やまがた」紙面にて参加者を募り行つてはどうか、但し経費その他明細についてもう一度検討してみる事。

その他、我が趣味と言うコーナーも企画して組合員の中にはこんな人も、あんな人もと紙面に登場願ひ、広く趣味の紹介又その人柄を書いて輪を広げていきたい。

等々、事業・教育・共済・共販の案内やお知らせも含めて組合員により身近に感じられる組合を第一に「理容やまがた」の紙面作りはもちろん、社会的に理容業・理容組合とはをアピール出来る広報活動を目指す事で一致を見、午後一時迄の三時間、熱気溢れる討議がなされ散会した。

五大共催キャンペーン

特別推進月間
 8月～10月



(下記の係の方が御伺い致します)

千代田生命長井支部 長井市小出海田3-1864 ☎(02388)3-2920 支部長大野貞夫 小関勝司・大沼利喜・滝川知一・川崎喜蔵 南陽支部・長井支部
米沢支部 米沢市門東町3-4-13 ☎(0238)23-2412 支部長佐藤幸男 田中利枝子・秋山千枝子・桐沢和子 米沢支部
山形営業所 山形市十日町4-7-23 ☎(0236)22-6769 営業所長手塚絃太郎 高内マサ・荒木綾子・渡辺栄美子・ 大宮千代子・阿部一男・田中武 山形支部 上山支部
寒河江支部 寒河江市栄町1-20 ☎(02378)4-2566 支部長橋本尚武 奥山清治・志藤美和子 東村山支部 寒河江支部
新庄支部 新庄市若葉町7-8 ☎(02332)2-0977 支部長黒田実 伊藤リキエ・小松トシ・鈴木カツ子 最上支部
酒田支部 酒田市本町3-11-40 ☎(0234)22-1349 支部長鈴木幸雄 佐藤寛・庄司芳一 酒田支部 飽海支部 藤島支部
鶴岡支部 鶴岡市日吉町5-36 ☎(0235)22-0653 支部長加納俊員 佐藤晃子 浅石陽子 鶴岡支部
山形支社 山形市十日町4-7-23 ☎(0236)22-4838 支部長鈴木俊雄 佐藤市郎

'57 共済部長会議開催

本年度初の共済部長会議は七月十一日(月)湯ノ浜温泉ホテル「海山」にて富樫理事長始め各支部共済部長、全理連担当の村中課長、千代田生命の鈴木山形支社長との参加を仰ぎ開催された。

会議は午後二時から五時までの長時間真剣な討議が行われ、特に「五大共済のうち加入率の低い「大型生命共済」「火災共済」「療養補償」の増加を実現する為、八月～十月の三ヶ月間を特別推進月間としこの推進にあたることとなつ

た。

又、「大型生命共済」の加入促進にあたっては、千代田生命との協同体制で、県目標二〇〇口の必達を実現するため各地の千代田生命との連絡を取り合い、各支部最低一〇〇口の加入達成を図っていくこととなりました。

全理連の共済は、組合員の為につくられた制度です。組合員全員の加入があつてはじめて育つ制度です。どうか全組合員の皆様のご理解ご協力をお願いする次第です。

中々編集後記中々

前広報部諸兄よりバトンタッチ、今期新広報部を長沼日出夫、田村与吉、井上藤太、石垣肇の県スタッフ。各支部広報部長協力のもと組合の動行を知るには「理容やまがた」からと皆々様から愛され喜ばれる紙面造りをモットーに、部員一同責任を胆に命じ頑張ります。拙文、誤字等もあると思ひますが、会員皆様の御理解御協力を御願ひ致します。皆様方からの御意見等の原稿は左記へ直接御送り下さい。尚、紙面の都合上投稿下さったもの内一部削去等もあると思ひますが御了解のほど……。

千九九二
 米沢市御廟一丁目三一三〇
 長沼日出夫 宛

